

セルコートアグリ CellcoatAGRI

特徴/characteristic

- セルコートアグリの膜が野菜、果実および樹木を保護して丈夫にし、病気を予防することが可能となり無農薬栽培に適しています。
- セルコートアグリの付着した野菜および果実は人の口に入っても全く無害です。
- 新しい葉に散布されたセルコートアグリは耐久性に優れており散布回数が減ります。
- セルコートアグリは雨などですぐに流れ落ちることはありません。
- 植物の炭酸同化作用や呼吸に全く影響がありません。
- サクランボ、ミニトマト等の裂果を防ぐことができます。
- 殺菌剤、殺虫剤と混用できますが、通常の濃度では薬害が発生しますので使用する農薬を5～7倍に薄めて使用します。(1000倍の場合5000～7000倍)
- マルハナバチ使用時にも影響がございません。
- 農薬を散布した後にセルコートアグリを散布すると薬害が発生します。
(農薬ごと農作物をコーティングしてしまうため)
農薬を落とす(水の中に3%の酢を入れたものを散布)または14日後に散布を行って下さい。
- 農薬ではないのでドリフト(他の農園に風等で農薬が飛散すること)が適用されない。
- セルコートアグリが葉の表裏にきちんと付着するよう散布は丁寧に行ってください。
- できる限り細霧(50 μ m～60 μ mのノズル推奨)で散布するようにして、ムラのないように気をつけて散布を行ってください。
- 塩害対策として使用可能です。

安全性/safety

- 原材料である有機カルシウムとセルロースは医薬品でまったく無害です。

用途/usefulness

- 野菜、果実および樹木を病原菌等から保護します。
- ミニトマトやフルーツトマトの割れ及びサクランボやブドウの裂果を防止します。
- 丈夫で病気などに強い栽培が可能です。カーネーション、ユリ、キク、ストック、チューリップおよびベゴニアなどの花にも使用できます。球根をコーティングすることで病原菌等から守ることが可能となり保存性がよくなります。

【使用方法】

1. セルコートアグリを10倍～25倍に水で薄めます。
水の中にセルコートアグリを入れて溶かします。
2. 希釈表は下記のようになります。
3. 重曹、シーテンまたは展着剤を併用可 各0.1～0.2%（より効果がよい）
病害虫が多発している時はシーテン0.1～0.2%をセルコートアグリの薄めた液に加えるとより効果があります。

【セルコートアグリの希釈表（20L/1ケース）】

水量\倍率	30倍	25倍	15倍	10倍
100L	3L	4L	7L	10L
150L	5L	6L	10L	15L
200L	7L	8L	13L	20L

- ・葉根菜類使用等は15倍～30倍で使用してください。
- ※基本は25倍の散布をお願いしております。より効果を得たい場合倍率を上げます。
- ・割れ裂果防止時は10倍 or 5倍で使用してください。

【使用量】

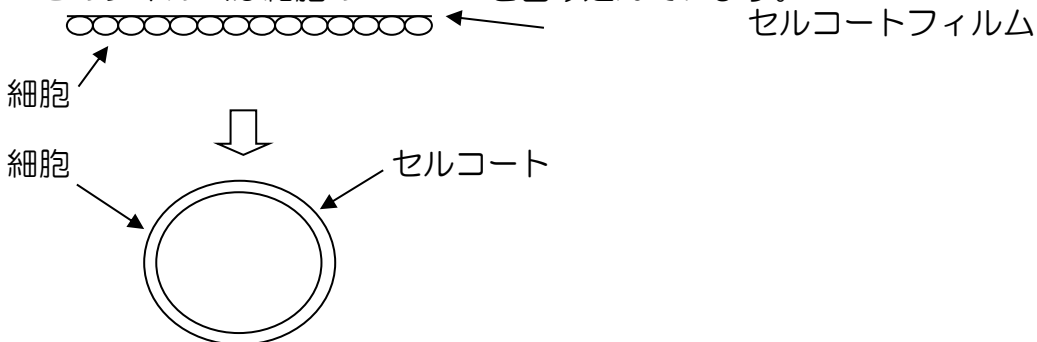
- 自動噴霧器の場合 10アールあたり80リットル～120リットル
- 手動噴霧器の場合 10アールあたり50リットル～80リットル

【使用時期と散布回数】

- 定植後、7～10日後から10日に1回散布を2～3回行います。
それ以後は月1回位です。

【図説】

- ・セルコートアグリは下図のように農作物をフィルムで包みこみます。
このフィルムは細胞の一つ一つを包み込んでいます。



- ・セルコートアグリが細胞の細胞水に浸透し、葉の成長と共にフィルムも伸びます。
- ・トライコームなどで水をはじく場合はシーテン（展着剤）をご利用ください。